

令和2年4月17日

保護者様

岐阜県立多治見高等学校
育友会長 小澤 直樹
校長 鈴木 彰

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休校延長に対応する 自宅学習支援のための「スタディサプリ」全校導入について

春暖の候 保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動並びに育友会活動にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が広がりを見せており、岐阜県においても連休明けの5月6日まで休校が延長されました。

本校においては以前から、自宅学習対策としてリクルートの「スタディサプリ」が利用できるように手配してきましたが、4月30日（木）で無料利用が終了いたします。そこで、今後も休校が続くことや5月7日以降も不確実な情勢を考え、「スタディサプリ」を引き続き利用できるようにし、休校中の課題提供や学校再開後における授業以外の場面での活用を促し、自主学習を進められるようにいたします。

記

1 リクルート「スタディサプリ」の導入

今後、本校の授業のライブ配信を予定していますが、設備的に限界があるため、スタディサプリと連動させることにより、学習の定着を図ります。また、スタディサプリのメッセージ機能を利用することで、教員と生徒の双方向での連絡が可能で、授業内容や課題等に関する質問も行えます。

2 利用料について

年間利用料金は一人あたり6,120円かかりますが、模擬試験1回分の代金を代替することで1人あたり2,000～3,000円の負担となります。

この負担については、毎月集めさせていただいている学校預かり金（学校積立）を遣り繰りする事で、追加のご負担がかからないように手配してまいります。

3 Wi-Fi 環境等について

学生支援として、通信大手3社（ドコモ、au、ソフトバンク）等は大容量の追加データを無償提供していますので、ご確認ください。情報端末がない場合については、県が対応を検討中です。また、学校再開後は校内PCの利用も可能です。

4 休校期間中の教員と生徒の連絡

学校からの情報発信は「すぐメール」や「学校ホームページ」、「スタディサプリ」を活用して、行っていきます。

本校に関係する生徒・保護者・教職員の命を守ること、生徒の学べる環境を整えることを第一に考え、このような対応といたしました。日本全体が直面する困難であり、皆で協力しながらこの危機的状況を乗り切っていくことが大切です。特に受験を控える受験生と保護者の皆様には多大な不安を抱かれていることと思っておりますが、少しでも生徒の学びの機会を保証したいと考えております。

今回は新しい教育方法への試みでもあります。準備までに時間がなく、初めての試みということで上手いかないところもあるかと思っております。ただ、本校が掲げる教育目標の「一歩前に踏み出す行動力」を実践する良い機会でもあります。生徒・保護者・教職員が一丸となって前向きに新たな教育の方法を創造していきたいと考えております。

保護者の皆様のご理解とご協力を何とぞよろしく願いいたします。